

# 東京都内 給水配管漏水補修

施工日： 2019年8月26日  
施工者： (株)折原製作所

施工箇所： 40mm 給水管 バルブ付近

現場条件： 直管部（施工時無圧）



①施工箇所確認 約40mmX30mmの穴を確認する。触手では、配管下部、並びにバルブの継ぎ目部分も錆の凹凸を感じる状況。



②施工開始 まずオリスチール（金属粉入エポキシパテ）で穴の周りを充填し、これ以上の破損、悪化を防ぐ目的で補強する。



③次に、両面にオリスチールを充填したステンメッシュ（大きい傷穴用補修部品）を穴の部分に完全に覆う様に貼り付ける。



④更に、錆の凹凸、細かい隙間を埋める目的で、オリシール（2液混合エポキシレジン）を塗布する。



⑤オリシールの表面が乾く程度時間を置き、傷穴部分を中心に、ブチルロール（下地用ブチルゴム）を貼る。



⑥貼り付けたブチルロールを覆う様に、上から、オリステープ（仮止め用特殊テープ）をなるべく強く引張りながら巻く。



⑦オリステープを巻き終わり後、配管の露出部分を無くす目的で、オリスチールを充填する。



⑧続けて、防食、補強効果を高める目的で、オリシールを塗布する。



⑨最後に、パイプの延命補強材マホータイ(特殊レジン含浸グラスファイバーテープ)を巻き、補強する。



⑩施工後 マホータイを巻き終わり後、硬化剤の水を含ませながら、巻いた方向と同じ方向に絞り作業を終了する。